



桜美林大学大学院 2025年度Ⅱ期入試
心理学実践研究学位プログラム 臨床心理分野
筆記専門試験 問題用紙

受験番号	氏名

- * これは問題用紙です。答えは解答用紙に記入してください。
- * 用紙が配布されても合図があるまで開かないでください。
- * 試験中、監督の許可なしに、部屋の外に出ることはできません。
- * 不正行為に対しては厳正に対処します。
- * 試験終了後、問題用紙も回収しますが、メモなどは消さなくてもかまいません。

I. 以下の文章を読み、カッコ内に適切な言葉や人名を入れなさい。

1. 脳において海馬と並び、とりわけ不安や恐怖といった情動にかかわる神経核の集まりを（a. ）という。
2. それまで目にしていた物が隠されて見えなくなったとしても、そこに存在していると理解できるようになることを（b. ）の獲得といい、これが獲得されると「いないばあ」を喜ぶようになる。
3. L. Festinger が提唱した理論で、矛盾する認知を抱えた状態において人は不快感を覚え、何らかの方法でそれを解消しようとすることを示したのが（c. ）理論である。
4. （d. ）とは、支援者が被支援者に対して向ける無意識的な感情・思考・行動で、支援の妨げとなる場合もあるが、被支援者を理解する糸口にもなりうる意義深い現象と考えられている。
5. （e. ）は、心理専門職がクライアントの立場を迫体験し、専門的資質の向上と自身の精神的な安定を図ることを目的として行われる。
6. 統計的仮説検証において、2群の比較を行う場合には「2群の間には差がない」という（f. ）仮説を立てて検証する。
7. 専門性に基づく「チームとしての学校」が機能するためには、（g. ）のリーダーシップが重要であり、学校のマネジメント機能を今まで以上に強化していくことが求められている。
8. J. J. Gibson は、（h. ）について「環境と生物の相互作用を通じて、生物が認識する行動の可能性」であり、環境側の持つ特性が、生物にとってどのような行動を可能にするかを表しているとする理論を提唱した。
9. 心理検査法の1つである（i. ）には、被験者が回答を意識的に歪曲することが困難であるという長所がある一方で、結果の処理に検査者の主観やスキルの影響が大きく、また客観性が得られにくいという短所がある。
10. 不注意や多動性、衝動性といった特性が認められる発達障害を（j. ）という。
11. B. F. Skinner によって提唱された概念であり、誘惑や衝動に直面した際に、自らの感情、思考、行動を制御する能力を（k. ）という。

12. 問題を具体的な行動（思考や情緒等を含む精神活動）として捉え、どのような状況でどのような精神活動が生じるのかという行動分析を行い、問題解決のための治療目標を具体的に明確にし、その変容を目指すといった特徴をもつ心理療法を（l. ）という。
13. 人間や他の生物が備えている、約 24 時間周期で体内の機能が変動する生体リズムのことを（m. ）リズムという。
14. 仕事に誇りとやりがいを感じ、熱心に取り組み、仕事から活力を得て、いきいきとしている状態のことをワーク・（n. ）という。
15. 仮説や信念を検証する際に、それを支持する情報ばかりに注目し、反対意見となる情報は軽視してしまう心理傾向のことを（o. ）という。
16. 離婚後又は別居中に子どもを養育・監護していない方の親が子どもと定期的、継続的に、会って話をしたり、一緒に遊んだり、電話や手紙などの方法でやりとりすることを（p. ）という。
17. 児童虐待防止法で規定されている虐待は、身体的虐待、心理的虐待、性的虐待、に加えて（q. ）がある。
18. 家庭裁判所の求めに応じ、鑑別対象者の鑑別を行うところを（r. ）という。
19. S. Freud の娘の A. Freud は精神分析の立場から遊戯療法を行ったが、V. Axline は子どもの主体性を重視する立場から、（s. ）を提唱した。
20. H. Selye は、多様なストレスラーによって起こる身体的な非特異的反応を（t. ）と呼んだ。

II. 以下の設問について指定の字数で回答しなさい。

1. A（30代・男性）さんは、「職場で、仕事ができないことで、上司や同僚から叱責ばかり受けるため恐くて会社に行きたくない」という主訴で医療機関を受診し、現在休職中である。当該の医療機関に勤める心理専門職であるあなたは、主治医から、Aさんについて、発達障害の鑑別を目的とした心理検査の依頼を受けた。あなたは、どのような情報収集、およびテスト・バッテリーを用いてアセスメントを行い、心理検査結果報告書（所見）の作成を行うか、300字以内で述べよ。
2. 小学校教師の48歳女性Aさんが「最近になってイライラや不眠がひどくて、気を付けていないと職場で子ども相手に声を荒げそうになるし、家でも自分の子どもに以前のような穏やかな気持ちで接することができません。そんな自分が嫌で、気分も沈みがちです。この状況を立て直したいんです。」と心理相談専門機関に来談した。この語りに基づき、「職場や家でのストレスが関係しているかもしれませんね。一緒にストレスへの対処を考えていきましょう。」「はい、お願いします。」とのやり取りを経て、継続的な心理面接の契約をしたとする。この対応の問題点を指摘し、このケースにおける具体的な対応の留意点を300字以内で述べよ。
3. 「心理的ストレスをコントロールすることができると、勉強やスポーツのパフォーマンスが高まることを授業で習った。そこで、500人の高校生を対象として、質問紙で測定した心理的ストレスの値と、テストの合計点について報告を求め、相関分析を行った。その結果、両者の間には有意な相関が確認された。このことから、心理的ストレスとテストの合計点には高い関係性があり、心理的ストレスが低いほど、テストの点数が高いことが明らかになった。」この報告の統計上の問題点と改善方法について300字以内で述べよ。
4. 大学2年生男子（19歳）。2年生になって学業成績の急激な低下と集中力の欠如を訴えて大学相談室のカウンセラーのあなたに相談に来た。授業の欠席も増え、課題提出にも遅れることがあると言う。来室時に記入する「相談したいこと」の欄には「自分がどんな人間かわからなくなった。心理テストを受けてみたい」と書いてあった。このケースでテスト・バッテリーを組むとすれば、どのようなバッテリーを組むべきか。使用するテストと実施時の留意点について300字以内で述べよ。

Ⅲ. 以下は『両親と子どもの自尊感情の関連における養育行動の媒介効果』（西村・清水・中島（2024）心理臨床学研究, 第 42 巻 第 3 号, pp.229-238）からの抜粋である。下記に示す結果から、本研究における両親と子どもの自尊感情の関連における養育行動の媒介効果の仮説についてどのような結果が得られたと言えるか。適宜、具体的な分析結果を示しながら 250～500 字で記述しなさい。

※問題本文は著作権上、web ページに掲載することができません。

出典を参考にしてください。

出典

『両親と子どもの自尊感情の関連における養育行動の媒介効果』（西村・清水・中島（2024）心理臨床学研究, 第 42 巻 第 3 号, pp.229-238）

※問題本文は著作権上、web ページに掲載することができません。
出典を参考にしてください。

出典

『両親と子どもの自尊感情の関連における養育行動の媒介効果』（西村・清水・中島（2024）心理臨床学研究, 第 42 巻 第 3 号, pp.229-238）

※問題本文は著作権上、web ページに掲載することができません。

出典を参考にしてください。

出典

『両親と子どもの自尊感情の関連における養育行動の媒介効果』（西村・清水・中島（2024）心理臨床学研究, 第 42 巻 第 3 号, pp.229-238）

※問題本文は著作権上、web ページに掲載することができません。

出典を参考にしてください。

出典

『両親と子どもの自尊感情の関連における養育行動の媒介効果』（西村・清水・中島（2024）心理臨床学研究, 第 42 巻 第 3 号, pp.229-238）

※問題本文は著作権上、web ページに掲載することができません。

出典を参考にしてください。

出典

『両親と子どもの自尊感情の関連における養育行動の媒介効果』（西村・清水・中島（2024）心理臨床学研究, 第 42 巻 第 3 号, pp.229-238）

MEMO ご自由にお使いください。
